

広報用実績のまとめ

令和 元 年度

団体名	総社市芸術祭実行委員会	代表者	塩尻 司	記載者	友野圭子
所在地(市区町村名のみ)	総社市				
活動目的	2010年に開催された「第25回国民文化祭・おokayama2010」で育った小さな文化の芽を育て芸術文化のレベル向上を図るため、総社芸術祭を開催する。				
団体の紹介	<p>初回となる総社芸術祭2013に向け、2012年8月、総社芸術祭実行委員会を立ち上げました。総社芸術祭では、隔年で開催のため、委員の任期は2年です。現在の実行委員会は、4回目となる総社芸術祭2019であり、2017年8月10日に第1回実行委員会を開催し、その後、月1のペースで実行委員会を開催しました。実行委員は10人で、総社市内の芸術文化関係者及び総社市の行政関係者にて構成しています。事務局は、総社市文化スポーツ部文化芸術課が行いました。</p>				
助成を受けての活動内容	<p>第4回目となる今回のテーマは、「赤と黒」に加え、サブテーマ「総社の力」を全面に押し出し、市民会館での「総社ゆかりの作家展」をメインに、市内の高校、大学の学生とのコラボレーション、市民会館でのステージ、公募による野外ステージパフォーマンスのほか、食文化や古代歴史展示など様々な文化で「総社の力」を感じていただきました。</p> <p>メインとなる総社ゆかりの作品展では、歴史に名を残す偉人から、現役作家まで様々なジャンルの総社にゆかりのある作家の作品を市民会館内に一堂に展示しました。</p> <p>出品者については、作家36人中故人を除くと20人が総社市在住、また故人も含めると全てが総社市ゆかりの作家の作品を展示しました。</p>				
助成を受けての成果	<p>今回の芸術祭では、市民が気軽に訪れることのできる市民会館を装飾して美術館の雰囲気を感じていただき、市民の機運を高めることができました。古代吉備文化から1000年、雪舟誕生から600年。総社は、こんなに優れた作家を輩出しているということを知っていただきました。</p> <p>プラチナウィークということもあり15日間で延べ2万人もの来場をいただき賑やかに行うことができました。</p>				
今後の活動の課題点	<p>今後も国民文化祭で育った小さな文化の芽を育て、芸術文化レベルの向上を図っていきたい。</p>				
問い合わせ連絡先もしくは、ホームページアドレス(加入希望の方などへのお知らせなど)	<p>総社市総合文化センター内 TEL0866-92-3491 メールアドレス e-bunkact@city.soja.okayama.jp</p>				

※ このページは、財団ホームページや印刷物などで公表される資料として使用される場合があります。
A4用紙1枚程度におまとめください。(他の報告書との重複可)
写真・チラシ・パンフレット(PDFもしくは、画像)等を添付していただいても結構です。

第4回総社芸術祭2019記録写真(抜粋)



↑オープニングセレモニー



↑展示の様子



↑山水長巻(複製)展示



↑子どもの作品展示



↑お茶席



↑屋内ステージ



↑屋内ステージ



↑屋外での生け花展示



↑マルシェ



↑古代の文化財の展示



↑屋外ステージ